

垂水区会

垂水会の見学バスツアー

松下エコテクと大阪ガス姫路

福6-垂 江藤 隆義

SC垂水会では会員の関心の深さから、毎年環境・エネルギー関係施設への研修見学会を行っている。

ことしの見学先としては、希望先アンケート調査と、受入先の参加者数条件(40~50名)によって、松下エコテクノロジーセンターと大阪ガス姫路ガスエネルギー館を選び、250名会員に対し先着順に、定員上限で打切りという条件で参加者を募集した。応募は53名、その後健康上の問題等でのキャンセルもあり当日の参加者は47名であった。

幸い梅雨の晴れ間の天候にも恵まれ、田園地帯に囲まれた加東郡社町の松下エコテクノロジーセンター(以下METEC = Matsushita EcTEchnology Center)に到着、2001年4月施行の家電リサイクル法や、対応する家電業界の2グループ化(松下:日立)等の説明を受け、工場内作業紹介のビデオを見せて貰



METEC説明会場

った後2班に分かれて工場を見学。当工場は法施行1年前に設立されたそうである。

工場内ラインは、TV・洗濯機・エアコン・冷蔵庫に分かれ、TVはPbが混入しないようファンネルガラスとパネルガラスに分別回収、洗濯機は破碎後磁選・水選別後鉄・プラスチック・銅・アルミに分別回収、エアコン・冷蔵庫も比重・渦電流選別・フロン回収等を附加しながら洗濯機同様の

分別回収を行っていた。

松下はご承知のようにリサイクル以上(?)に電化製品の開発・販売メーカーである。リサイクル作業を容易化する為にはリサイクルし易い商品設計が必要である。その為電化製品の開発・設計担当者にこのMETECのラインに入って作業させ、リサイクルし易い材料選定・設計方法を体得・フィードバックさせているようである。

最後の質問の時間では、日ごろ馬鹿げたジョークを飛ばしあっている垂水会のメンバーも、かつては企業戦士として働いていたころを思い出してか鋭い質問の連発でMETEC側の回答者もたじたじであった。

その後姫路ガスエネルギー館に移動し、同館内の集会室で昼食。

大阪ガス姫路製造所は、近畿2府4県650万世帯の内約200万世帯への都市ガス供給基地として、1984年から稼働しているそうで、都市ガスの製造フロー等の説明を受けた後、映像ホールで「ポン太とみどりの大冒険」観覧。そのあと外に出て、白靴下を使ったディーゼル車と天然ガス自動車の排気ガス(黒煙)比較実験を見せて貰う。

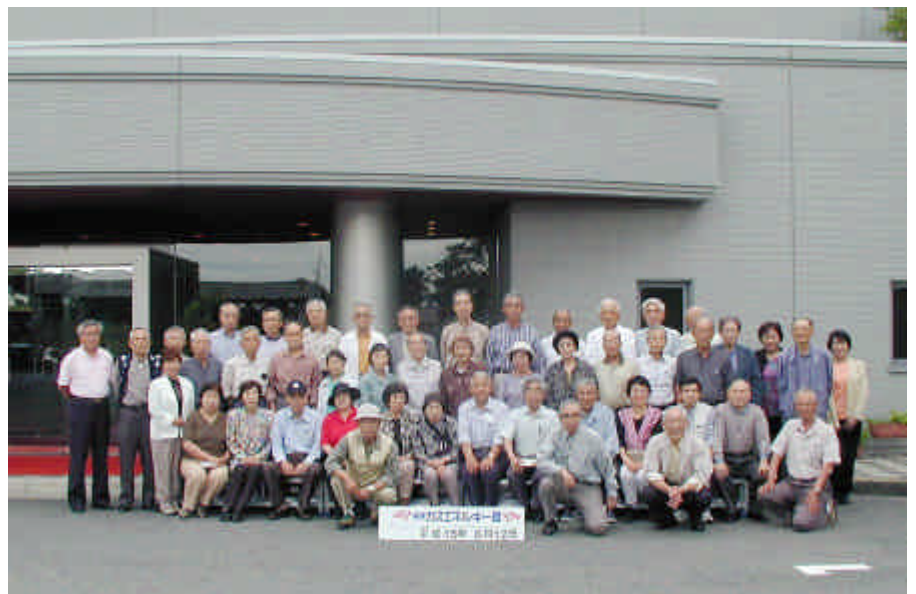
ついで我々のバスに館のスタッフレディーがガイド役で乗り込み、工場内を回った。折りよく主棧橋に接岸していたインドネシアからのLN



排ガス比較実験

G専用タンカーが見えた。緑化された構内には、7基の8万キロリットルLNGタンク、冷熱発電付気化器、送出パイプ等のほか、社員が維持しているというピオトープもあった。約47万m²の敷地内にはタヌキが住んでいるそうだ。エネルギー館に戻り、入口前で記念撮影をし、館内に入り、トム・ヴァン・サントが人工衛星の写真を合成して作った地球儀を見、熱気球・炎色反応・沈むパスカルキャップなどの科学実験で遊んだ後、実験ゾーンでは-160度の物性・燃焼実験等を見せて貰い、質疑応答でガス・灯油・電気エネルギーの長短所比較等の説明を受けて見学を終わった。

なお、SC垂水会は8月21日(木)13:30~奥平野浄水場・水質試験所の見学と「おいしい水、安全な水」の出前トークを水質試験所にて開催予定で、多数の参加を希望します。



ガスエネルギー館訪問記念